







芽衣子...



私は嬉しいですが、今日の会長は普通の会長とちがいます。

こんな会長じゃあ私なんかじゃあ...



私のことを覚えておきますか...





答えは何んだらうと  
正直に聞かせてね。



恥ずかしくないで  
本当の気持ちをお聞きたいの。



あ、愛しんが...

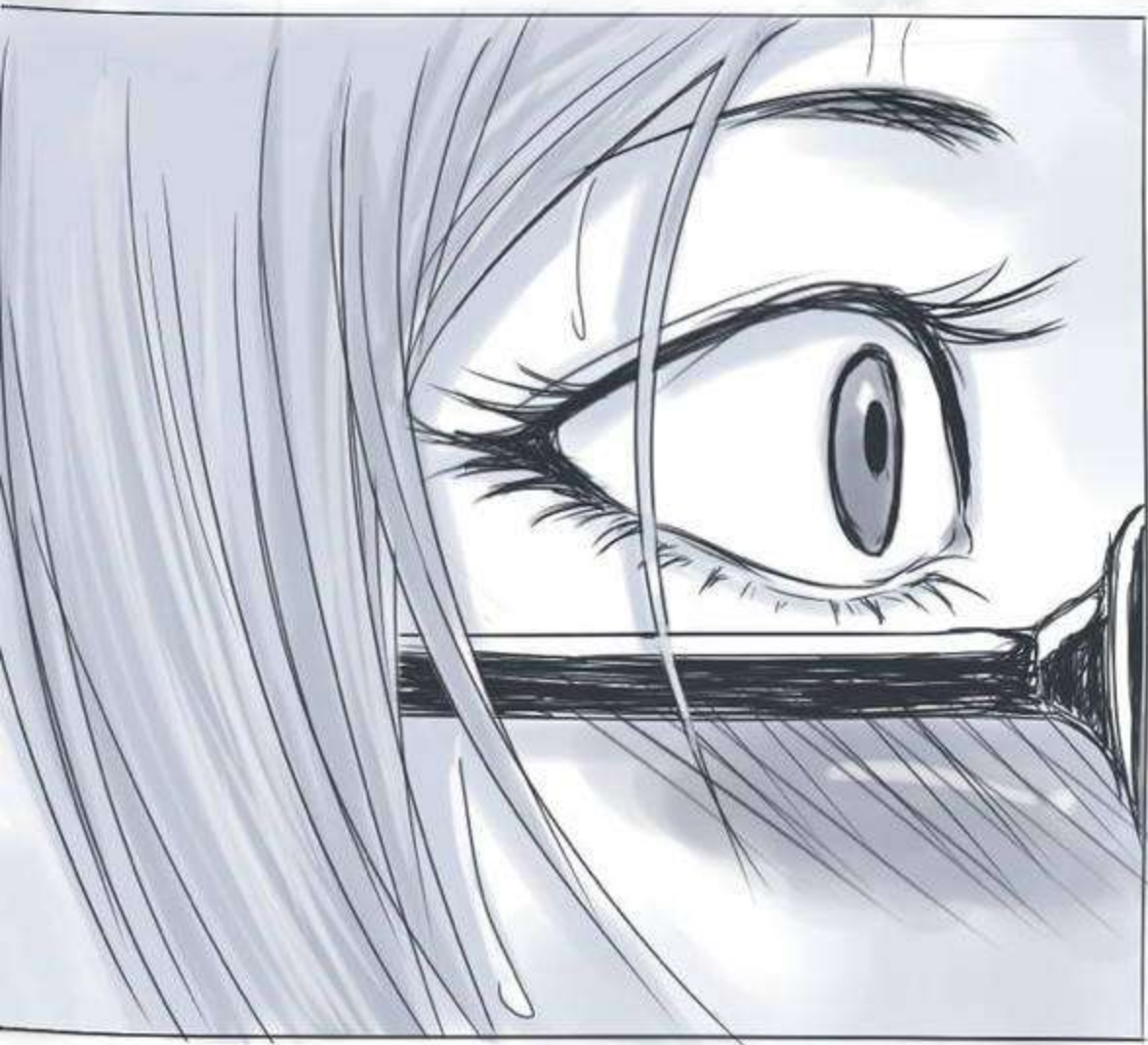


今まで男気が  
なくって言えませんが  
ここに... あります...



ずっと言えませんが  
ですが、小学校の時  
から会長の... こと...









糸女 JNC だ。



私もあなたのことを  
ずっと前から...

ニッ...



まだ貴方と何もしてない  
のに、ケイトと...仕方ないと  
はわかるけどやっぱり  
後悔したわ。



だから謝りたい。





昔衣々は……  
怒ってない……よね？

先は何も説明しないでいきなり服を脱いごね  
こ、わかんないよ







どうしたの？  
アサミなの？



め、芽衣子？



嬉しなの。

うう





会長は私と同じ気持ちを持つなんて一度も思ったことありませんでした。





いじらなう。



甲へん言えはあなたも  
苦しんでいないはず  
なのよ...



私の気ちは本当だから、  
もう泣かないでね芽衣子。  
心の底からあなたをも  
愛しているわ。





会長は

あつこ



自信をくれた。



手をかした。



昔から私に優しくしてくれた。  
私に声をかけた。


いつの間にか  
会長から目が  
離れられない。



勇気をくれた。









会長は私にとって憧れこいる存在。誰よりも会長を尊敬するずっと会長のそばにいってほしい。しかしその同時に悩みがあるんだ。

本当に会長のそばにいっていいのしょうか  
と思っていた。会長は私を必悪されこいるのが。



会長はいつも近いけど遠い気がするんだ。では何故今の会長は近いと感じるだろう。

きっと先「察」してると私におしゃったからだ。今まで手に届かないと思っていたばかりのに、違ったようだ。会長は私の目の前にいる。









ごめい

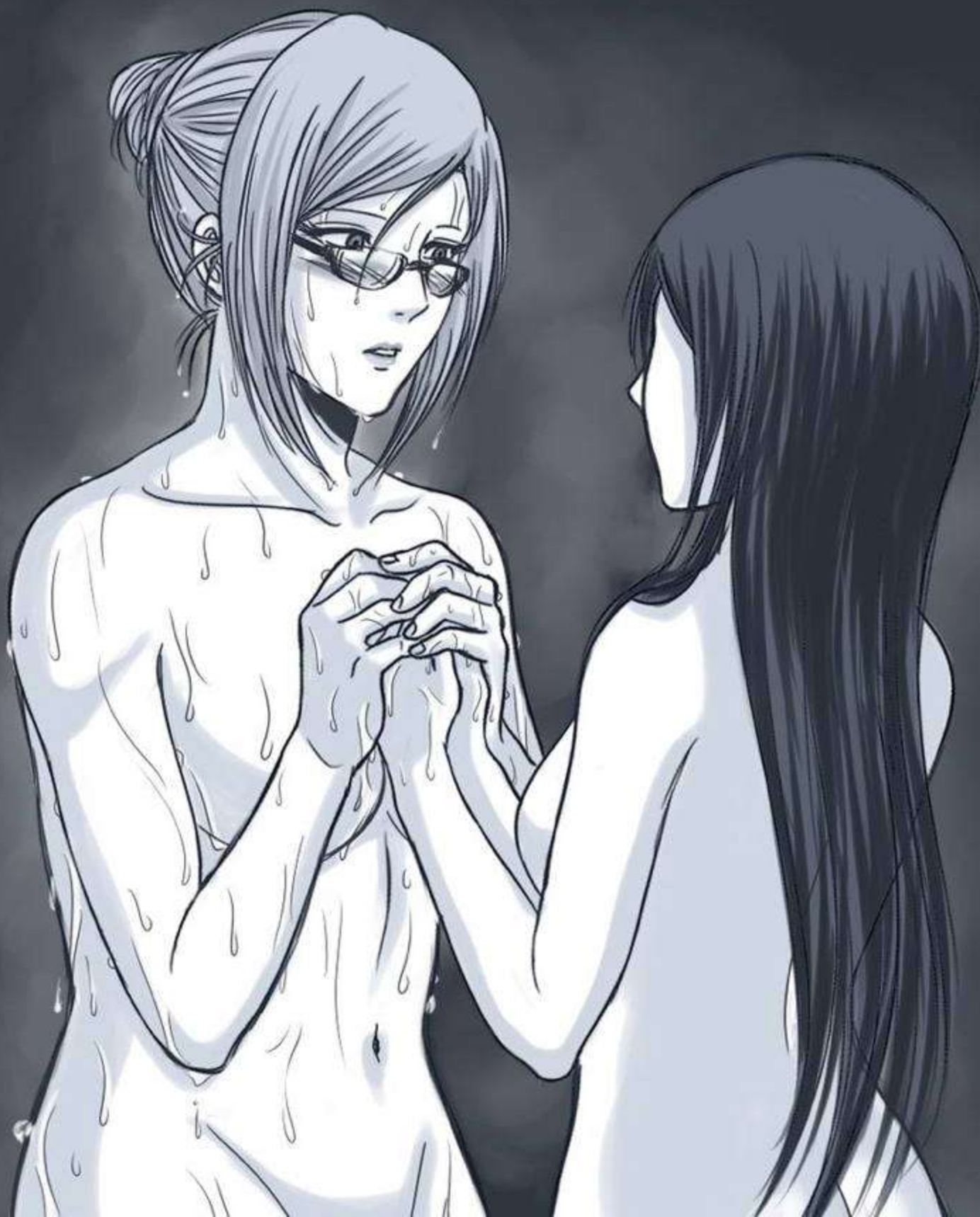


会長がさう  
望んだら...

ギョッ



ドキーン



万里さん...

あ...





これからもずっと会長を  
「万里さん」と呼んでつづけます。  
すぐなれると約束できませんけど  
なれるようにがんばります。



も、申し訳  
ごめいません！  
やはり失礼でしたか？

い、いや。  
ごめんね。

嬉しすぎこじっつ  
うっかりと笑っちゃって...

えっ？







本当...もう何年  
ぶりにするのだろうか



井芽衣子が私の如き  
呼んでるのは久しぶりだよ  
と思ってる...



いつの間にか...  
友達ではなくて  
「会長」と「副会長」  
という関係に...



昔の井芽衣子は  
よく「万里さん」を  
呼んでいたのに

万里  
さん



近いけど遠い...  
それが私達の関係...  
しかし、今芽衣子の  
お蔭で



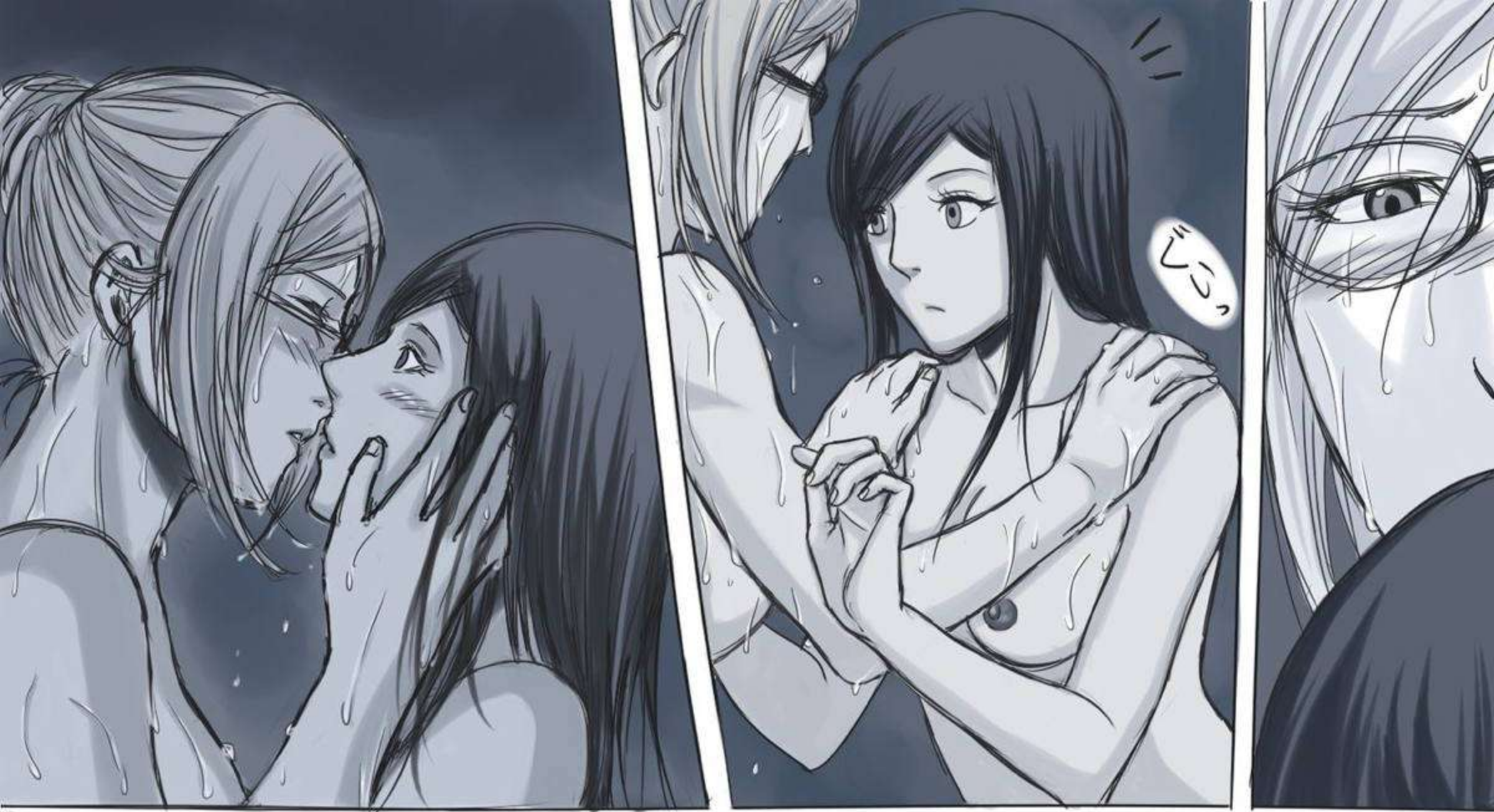
その「壁」を壊れ  
られる気がする。



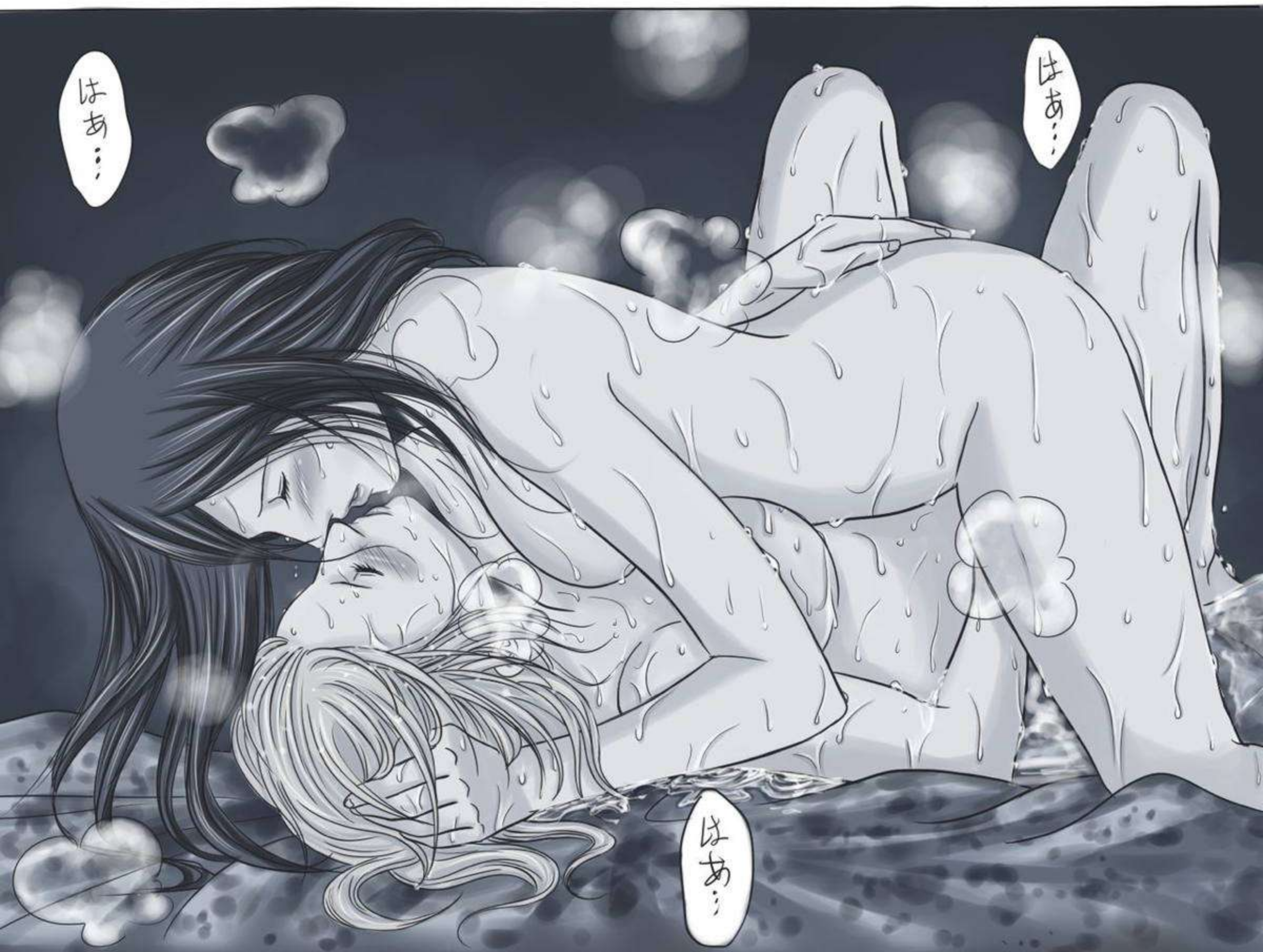
ありがとうね、  
芽衣子。



















万里さんと  
同意見です。



でもこんな気持ち  
は初めですわ。  
芽衣子もそう思っています。



夏の暑い中に長時間  
はたらくとさすがに耐え  
られずささる...

ま...  
またくです...



さあ続きましようか  
シャツが濡れるまで。

ハイ！  
でも私の汗で、毛布は随分  
濡れてるんですが...

フフフ...まだ完全に  
濡れてないわ。

私たちの物語は  
この瞬間から始まる。

え、え、え!!  
ま、万里さん!

完。